

第704回

I B C番組審議会 議事録

—議題—

I B Cテレビ

「いわて見聞録 クマと人間～境界の最前線～」

2025年10月22日（水）

（株）I B C 岩手放送

第704回IBC番組審議会

1. 開催日時 2025年10月22日（水）午前11時

2. 開催場所 IBC岩手放送 Dホール

3. 委員の出席 委員総数 9名

出席委員 9名

出席委員の氏名

委員長	田代 高章
副委員長	熊谷 志衣子
委員	菊地 文彦 郷右近 勤 後藤 高宏 高橋 司 繁田 奈菜子 柴田 千春（リポート） 龍澤 尚孝（リポート）

会社側出席者

眞下 卓也	代表取締役社長
八木 宏樹	常務取締役編成局長
兼平 宗彦	取締役メディアセンター長
大志田 融	メディアセンター次長
吉田 美涼	報道制作部記者

事務局

藤原 崇史	番組審議会事務局長
平澤 泰志	番組審議会事務局員

4. 議題

IBCテレビ 「いわて見聞録 クマと人間～境界の最前線～」

9月27日（土）午後4時半～午後5時放送分

5. 議事の概要

<委員の主な発言>

- 連日クマの被害が報告される中ちょうど緊急銃猟も始まり、クマと人間の共生を考えさせられるタイムリーなドキュメントだった。
- 獵友会を取材することで現場の実情がよく見えた。ハンターの数は増えているものの、緊急時に動ける人が少ない。緊急銃猟が簡単ではないということが説得力を持って伝わってきた。
- 非常に素晴らしい番組だった。特にクマによる人的被害がかなり発生している中で、駆逐した方がいいんじゃないかという意見になりがちだが、クマなどの野生動物との共生の部分について提言していると感じて非常に共感した。
- 花巻の獵友会会長の「なくて良い命はない」という言葉は番組を締めくくるに適したものだった。
- 農業団体の立場からすると、鳥獣被害は非常に大きな問題であり、経済事業との兼ね合いという点も問題提起して欲しい。
- 境界の作り方をどうしていくかというところが本当に必要なことだと再認識させられる素晴らしい番組だった。
- 身の回りで起きている出来事を、この番組を見て自ら興味を持ち、考えるきっかけを与えてくれた。今後もこのような番組が沢山あれば良いと思う。
- 「過度な捕獲圧」という難しい言葉は避けたほうがいい。
- グラフのテロップで「今年度今月4日現在」という記載があったが、放送後の配信や録画視聴にも配慮して「9月4日」と表記するのが良いのではないか。
- 一般の人がどういう対策をすればクマ被害を避けるのか教えて欲しい。